



World Food Programme

wfp.org/jp

2012年サヘル干ばつ 緊急支援活動報告



©WFP/Rein Skullerud

背景

西アフリカのサハラ砂漠南縁に広がるサヘル地域で大干ばつが発生し、ブルキナファソ、チャド、ニジェール、セネガルなどを含む広大な地域一帯で、1,500万人を超える人びとが飢餓にさらされました。マリでは、国内の政情不安も食糧危機の一因となりました。

サヘル地域は、食糧不足および栄養不良のレベルが世界で最も高く、また、危機状況でなくとも人びとの栄養不良や子どもの死亡率が非常に高い地域です。WHO(世界保健機関)によると、同地域の子どもの5人に1人が、5歳になる前に命を落としており、栄養不良が死亡原因の30%を占めています。



2012年の、国連WFPによるサヘル緊急支援活動に対しては、合計7億7,600万米ドル(必要額の88%)の支援が寄せられました。皆様の継続的な支援のおかげで、この度の大規模な支援活動が可能となりました。なお、国連WFP協会は、サヘル緊急支援のため、2012年6月に6,300万円を送金しました。サヘル地域における国連WFPの活動を支援くださった皆様の、迅速かつ貴重なご寄付に深く感謝申し上げます。

国連WFPの緊急支援活動

2012年、国連WFPは、ブルキナファソ、カメルーン、チャド、ガンビア、マリ、モーリタニア、ニジェール、セネガルにおいて食糧支援および栄養強化支援を実施し、各国政府やその他人道支援団体との緊密な協力のもと被災者を支援しました。特に、6月から9月にかけての備蓄食糧が最も少なくなる時期には、毎月500万から600万人の人びとに支援を届けました。また、マリで発生した紛争による避難民への支援も実施しました。

- 最も弱い立場に置かれた人びとを対象に緊急食糧支援を実施したほか、道路・井戸等の建設・修復や農業用地の整備等、地域資産形成のための労働に参加した人びとへの食糧提供等を行いました。治安が良く、市場が機能している場合には、地域経済の発展を促すためにも、現金や食糧引換券の配布を実施しました。

- 状況が最も深刻な地域の5歳以下の子ども、妊婦および授乳中の母親を対象に、栄養不良の治療および予防のための栄養強化支援を実施しました。また例えば11月には、ガンビアを除くサヘル地域の国々の計34万2,000人以上の6～59カ月の乳児、17万1,000人以上の妊婦および授乳中の母親を対象に、栄養強化支援を行いました。
- 大量の支援物資を、アクセスが困難な地域や遠隔地へも確実に届けられるようにするため、物資の輸送および管理・保管能力の強化を行いました。

2012年5月から11月の国別支援者数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ブルキナファソ	227,369	367,433	533,265	862,259	1,408,891	1,348,484	81,530
カメルーン	-	20,885	65,761	94,773	135,243	96,254	104,166
チャド	429,549	855,357	449,843	272,051	289,567	386,097	121,768
ガンビア	-	142,420	159,518	37,898	159,853	228,583	188,135
マリ	-	235,695	397,880	477,105	600,115	425,549	561,025
モーリタニア	101,256	383,371	208,912	249,851	196,754	242,449	323,411
ニジェール	1,725,337	3,182,434	3,256,691	3,082,425	3,166,098	888,305	202,895
セネガル	292,127	563,775	492,453	201,474	729,975	441,548	193,336
合計(約)	270万人	570万人	550万人	520万人	660万人	400万人	180万人

国連WFPやFAO(国際連合食糧農業機関)が、2012年10月と11月に合同で実施した調査では、サヘル地域の危機は、各国政府や各人道支援団体の支援活動によって緩和されたとの結果が見られました。しかし、同地域の食糧不足および栄養不良のレベルは依然として高く、問題の根本的な解決に取り組まなければ、今後数年の内にまた状況が悪化すると見られています。



支援食糧の配給を受ける人びと。



栄養強化食品を子どもに与える母親。

2013年1月4日付